

令和6年度 金沢版総合戦略推進事業実績報告

金沢市では、企業様からのふるさと納税を活用し、以下の事業をはじめ、幅広く地方創生につながる事業を実施しました。

①若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合う まちをつくります

「医療的ケア児支援拡充事業」として、「医療的ケアやサポートが必要な子の子育てハンドブック」を作成しました。また、医療的ケア児を育てる家族を対象にこのハンドブックを周知するイベントを開催し、金沢市医療的ケア児等コーディネーター制度について説明するとともに、同じ立場の家族と交流する機会を提供しました。

また、福祉健康センターに併設されている市内3箇所の「こども広場」では、遊具やおもちゃを設置するほか、常駐する保育士が手遊びや絵本の読み聞かせを実施し、天候に関わらず屋内の遊び場として多くの親子が利用しました。



②金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、 集うまちをつくります

「金沢で暮らす」を考える交流会を開催し、参加者に金沢での仕事や暮らしを具体的にイメージしてもらいました。金沢で活躍する若手社会人や起業家の方々が自身の経験やライフスタイルを語り、参加した学生と熱心に語り合いました。

また、文化施設の魅力や新たな体験を提供する「金沢ミュージアムプラス」の運営では、所蔵品のデジタルコンテンツ公開や最先端技術を取り入れた魅力的なスペシャルコンテンツを随時追加しました。加えて、英語表記への対応や新たなデジタルコンテンツの制作に向けて検討を行うとともに、各種イベント等に出展し、金沢ミュージアムプラスのデジタルデータを活用したオリジナル缶バッジづくりやAR化された作品との写真撮影体験など、最先端技術を通して金沢の文化に触れる機会を創出しました。



③イノベーションにより産業と雇用が創出される まちをつくります

「若者・女性起業家コミュニティ形成促進事業」として、大学生が取材した起業家等の情報を発信するとともに、創業機運の醸成を目的とした交流会を開催するなど、起業家のネットワーク構築を通して若者や女性起業家の活動を支援しました。

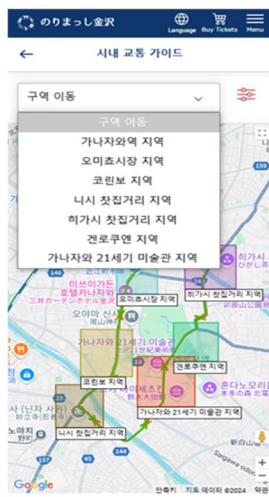
また、「魅力発信官民連携プロモーション事業」として、首都圏や中京圏等の百貨店等で開催される金沢の物産展と連携し、観光PRを実施することで、金沢の魅力や情報を広く発信しました。



④ 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすい まちをつくります

公共交通の使いやすい環境を整備するため、デジタル交通サービス「のりまっし金沢」のデザインや動作環境をリニューアルするとともに、「金沢まちなか交通ガイド」のデジタル版に韓国語など外国語 6 言語を追加しました。

また、健全な森林の育成・整備、森林資源の利用拡大に加えて、森づくり活動推進の持続的な発展をめざし、旧東浅川小学校を活用し森と市民をつなぐ拠点施設を整備するため、令和 6 年度は実施設計を策定しました。



お問い合わせ先

都市政策局 地域力再生課

電話番号：076-220-2034

FAX 番号：076-264-2535

chiikiryouku@city.kanazawa.lg.jp